

新冠の新たな歴史文化の拠点施設『ポロシリ生活館』が完成



国の「アイヌ政策推進交付金」を活用し、令和2年度から地域住民の交流活動および地域の歴史文化を伝承する目的で整備を進めていた多機能型交流施設「ポロシリ生活館」（判官館森林公園内）が完成し、9月1日に落成式が挙行されました。

今後の施設の利用については、9月18日（日）に新冠アイヌ協会主催の「イチャルパ供養祭」が開催されるほか、同月20日（火）からは地域交流活動や学習活動の場所として供用を開始する予定です。

●問い合わせ先
町民生活課社会係 ☎ 0146・47・2112

ポロシリ生活館施設概要

【交流ホール（披露の間）】

アイヌ古式舞踊（アイヌ民族により伝承されてきた歌と踊り）の練習・披露および歴史文化や判官館に関する学習などのために利用する部屋となります。



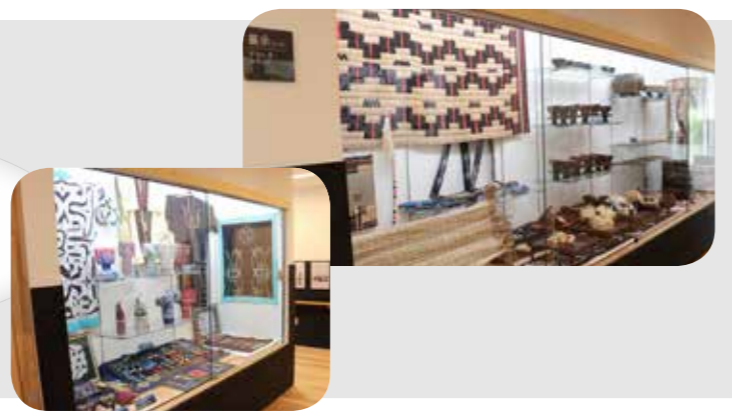
【囲炉裏の間】

アイヌ民族の伝統的な儀式であるイチャルパ供養祭を執り行う部屋となります。
※令和4年9月18日（日）にイチャルパ供養祭を予定。



【展示コーナー】

アイヌ民族の衣類や儀式に使う道具などを展示しています。アイヌ文化独特の技工や文様にご注目してください。



【作業室】

アイヌ文様の刺しゅうやアイヌ祭具の一つであるイナウなどを作成するために利用する部屋となります。



【祭壇スペース（屋外）】

イチャルパ供養祭などの際、イナウ（木幣）やトノト（酒）を自然界の神々に捧げるとともに、沢山の果物やさまざまな料理、お菓子などの供物を祖先が食べやすいよう細かくして捧げる場所となります。



【事業概要】

- 事業名 新冠町アイヌ政策推進事業（アイヌ政策推進交付金）
- 構造・規模 木造平屋建て
- 延べ床面積 478.92㎡
- 事業期間 令和2年度～令和4年度
- 事業費 295,475,240円

【事業費内訳】

- ・工事請負費 267,923,700円
- ・役務費 55,000円
- ・委託料 17,845,300円
- ・備品購入費 9,651,240円

【財源内訳】

- ・アイヌ政策推進交付金 236,021,000円
- ・多機能型交流施設建設事業債（町債） 54,200,000円
- ・一般財源（町費） 5,254,240円

【デザインコンセプト】

アイヌ伝統民家「チセ」をモチーフとし、儀礼（イチャルパ供養祭）の行われる囲炉裏の間を、神聖で象徴的な場ととらえ計画を行いました。

勾配が42度ほどである大屋根は、象徴的なスカイラインを造り、外部を取り囲む雁木部分の緩勾配屋根に連続します。

外壁は、チセの外壁にみられる水平ラインをイメージしています。

深い庇を持つ雁木に囲まれた囲炉裏の間は、乳白色のガラスで覆われ、柔らかい光に満ちた神聖な場となります。

